

第9期に向けた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査項目は、第8期から変更ない。調査の実施の手引きを参考にして実施いただきたい。
- 調査結果は、地域包括ケア「見える化」システムに登録することにより、経年比較や他地域との地域間比較が可能となることから、データの登録をお願いしたい。

名称		(第7期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第8・9期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的 (調査票の作成段階での想定)		<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、<u>地域診断に活用</u>し、地域の抱える課題を特定すること 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の管理・運営に<u>活用</u>すること 介護保険事業計画における新総合事業部分の策定に<u>活用</u>すること <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、<u>地域診断に活用</u>し、地域の抱える課題を特定すること 介護予防・日常生活支援総合事業の評価に<u>活用</u>すること <div style="text-align: center;">  </div>
調査対象		要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数		必須項目33問(見える化への登録、地域診断の活用を想定) オプション項目30問	必須項目35問 オプション項目29問
設 問 の 内 容	「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したものの「虚弱」高齢者を把握する項目	<ul style="list-style-type: none"> 運動器の機能低下 低栄養の傾向 口腔機能の低下 閉じこもり傾向 認知機能の低下
		その他	<ul style="list-style-type: none"> IADL/転倒リスク
	「社会資源」等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等への参加頻度 地域づくりへの参加意向 	<ul style="list-style-type: none"> たすけあいの状況 主観的幸福感 等
	その他		<ul style="list-style-type: none"> 認知症にかかる相談窓口の認知度
標準的な実施方法		「実施の手引き」の提示	「実施の手引き」「活用の手引き」の提示
見える化システムへの登録		あり(標準的な実施方法により得られた必須項目への回答)	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)